

## 地域包括支援センターだより

当センターは、高齢者の暮らしについて様々な相談や要望に応える「よろず相談窓口」です。暮らしのコンシェルジュに寄せられるご相談と対応を紹介します。

今月は「地域の見守り体制作り」について取り上げてみたいと思います。

●相談内容…「最近、近くの〇〇さんの姿をみないと思いきになり訪問してみたら動けない状態だった。室内はゴミが散乱しており臭いも酷い。認知症もあるようだ。どうしたら良いか」

●対応策…地域の見守り体制作りについて説明します。

●2025年には5人に1人の割合で認知症になると言われている中、認知症や高齢によりゴミの分別が困難になっている方も多く、周囲が気付いた時にはゴミ屋敷になっていたなどの相談がとて増えています。

○大崎町では地域の見守りネットワーク構築が充実しており、地域共生社会の実現に向け、誰もが支え・支えられ、地域の高齢者が安心して暮らせるように取り組んでいます。最近ゴミ出しに来なくなった、ゴミ分別ができていない、また独居になり姿を見なくなったなど、少し気になることに声を掛け合い、人と社会がつながり合えるように、見守り体制作りをしています。

### 【相談窓口】

地域の民生委員、役場 保健福祉課 介護福祉係 (☎476-1111 / 内線144) または、大崎町地域包括支援センター (☎471-7828) までご相談ください。

## 令和6年春の農作業事故ゼロ運動のお知らせ

4月から6月は、田植えやさつまいもの植付けなど農作業が忙しくなります。

農作業事故を起こさないよう安全対策に努めましょう。

**スローガン 『徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策』**  
**～カクニン・カイゼンでピンチに備えよう！～**

**！ 農業機械を使用するときは、次のことに注意しましょう。**

- ① ほ場周辺の危険箇所を確認し、改善・補強又は回避行動を実施しよう。
- ② トラクターに安全キャブ・安全フレームを装着し、運転時にはヘルメット、シートベルトの着用を徹底しよう。
- ③ 農業機械の定期的な点検・整備をおこない、整備不良による事故を防ごう。
- ④ 農業者（特に高齢農業者）へ、家族や知人の方からの「声かけ」を実施しよう。
- ⑤ こまめに休憩や水分補給をおこなうなど、熱中症に気をつけよう。
- ⑥ 無人航空機利用の農作業では、作業前に、ほ場周りの障害物や風向きを確認し、接触事故を防止しよう。